



あいちけんりつ とくべつしえんがっこう
愛知県立ひいらぎ特別支援学校PTA

れいわ ねん がつ にち はっこう
令和7年12月19日 発行

全肢Pに参加して

～我が子の特別ではない日常とは～

PTA 会長 荒木 春海

「地域」をテーマにした分科会では、“障がいのある子どもたちにとって特別ではない日常をどう作るか”を話し合いました。けれど、私にとってその“特別ではない日常”こそ、もうすでに私たちの当たり前の毎日なのでは?と感じました。共生社会の実現には、私たち親の努力や発信が欠かせない現実もあります。誰もが自然に手を取り合える社会を目指して、できることから歩いていきたいと思いました。

ひいらぎフェスティバル

事業委員長 早川 真里

11月8日(土)に、ひいらぎフェスティバルが開催されました。一生懸命頑張って発表する子どもたちの姿は、日頃頑張っている私たち保護者のご褒美となったのではないのでしょうか。また、その子どもたちをサポートする先生方の姿にも感動し、感謝しかありません。PTA ブースも大盛況となり、お手伝いいただいた保護者の方々にとても感謝しています。



全校研修「防災について」

ひいらぎ特別支援学校教職員・PTA
合同研修会が行われました。株式会社
宮源の岩橋様を招いて「災害時の食事」
について講話をしていただきました。



わこうど はたち 若人～20歳～のつどい

がつ にち ど れいわ ねんど こうとうぶ そつぎょうせい めい たこう
10月4日(土)に、令和5年度の高等部卒業生12名と他校
てんしゅつ めい けい めい はたち ふしめ いわ
へ転出した1名の、計13名の20歳の節目をお祝いしました。



ち た ち く こうりつこうとうがっこう 知多地区公立高等学校

れんごうけんきゅうしゅうかい さんか PTA連合研究集会に参加して

しよき かいけい いしい まい
書記・会計 石井 舞

ち た ち く こう けんきゅうしゅうかいこうえんかい さんか えんだい お
知多地区高P研究集会講演会に参加しました。演題は「折れない心の育て方～自己肯定感・
たしやしんらいかん たか どうき
他者信頼感を高める動機づけ～」でした。

こうえんかい ないよう たの わ おお きづ まな おお こうえん
講演会は、アニメの内容をベースに、楽しく分かりやすく、大きな気付き・学びの多い講演
でした。講師の方の言っていたことで「子どもたちはひまわりと一緒に。親が笑顔だと子どもも
えがお こうし かた い こ いっしょ おや えがお こ
笑顔。」という言葉聞いて、いつも笑顔でいたいなと思いました。



しょうがいじ じりつ しゃかいさん かすいしんかいぎ さんか 障害児の自立と社会参加推進会議に参加して

ふくかいちょう むらこし よしゆき
副会長 村越 好幸

ろうがっこう したい ふじ ゆうとくべつしえんがっこう まな そつぎょう せんぱい けいけん
聾学校や肢体不自由特別支援学校で学び卒業した先輩の経験や
いま おも き しゃかい じりつ おや せんせい
今の思いを聴けました。社会のなかで自立するとは、親や先生たちとは
ちが さまざま ひと じぶん かんが せんたく せいかつ
違う様々な人たちとコミュニケーションをとり、自分で考え選択し生活し
ていくこと。困難なこともあるけど、その分楽しいことややりがいもある！
ちからづよ こえ ゆうき しゃかい おうえん きづ
力強い声に勇気をもらい、社会としてもっと応援せねばと気付かされま
した。



『つぶやき』

こうほういいんちょう たけうち はるか
広報委員長 竹内 遥

はや こうとうぶ ねんせい しゅうしよく こと しんけん む あ
早いもので高等部2年生になり就職の事、真剣に向き合わな
ければならない時期になりました。今年の夏休みに就労移行支援
たいけん じ むしごと おし たいけんまえ い
を体験しました。事務仕事を教えていただきました。体験前は「行
きたくない」と言っていたのですが、終わってみると楽しかったみたい
で安心しました。就職先はまだ決まっていますが、本人の望むと
ころに就職できるといいなと思います。



HPでは、さまざま じょうほう
けいさい
を掲載しています。
ぜひ、ご覧ください。

